

環境活動レポート

対象期間 <平成 24 年 4 月~25 年 3 月>



株式会社 高橋栄司自動車

発行日 平成 25 年 5 月 17 日

目 次

- (1) 環境方針
- (2) 事業所の概要
- (3) 環境目標とその実績
- (4) 環境活動計画の内容
- (5) 取組結果の評価と今後の取組
- (6) 環境関連法規への違反・訴訟等
- (7) 代表者による全体評価と
見直しの結果

(1) 環境方針

<環境理念>

株式会社 高橋榮司自動車は、事業活動の主体である自動車整備事業を進める中で、環境への取組みが重要な社会的責任と認識し、環境に配慮した整備並びに事業活動に伴う環境への負荷を低減する等の環境保全活動を自主的、積極的に推進します。

<行動方針>

1. 環境関連法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 省エネ活動を推進し、CO2を削減します。
3. 廃棄物の減量化・リサイクルの推進に努めます。
4. 排水量(水使用量)の削減に努めます。
5. リビルト部品及びリサイクルパーツなど環境に配慮した部品の使用を推進します。
6. 毎朝、会社周辺の清掃を行い環境活動に努めます。

この環境方針は、すべての従業員に周知し、公開します。

改訂日 2011年5月16日

株式会社 高橋榮司自動車

代表取締役社長 高橋悦郎

(2) 事業所の概要

- 1) 事業所名及び代表者名/環境管理者名
株式会社 高橋榮司自動車
代表取締役 高橋 悦郎 (兼環境管理責任者)
- 2) 所在地及び連絡先並びにホームページアドレス
住所 仙台市青葉区上杉1丁目16-20
電話 022-265-2,355 FAX 022-265-2366
車検検査場 仙台市青葉区上杉2丁目3-39
<http://www.lotat-takahashi.com>
e-mail : info@lotat-takahashi.com



3) 事業の内容

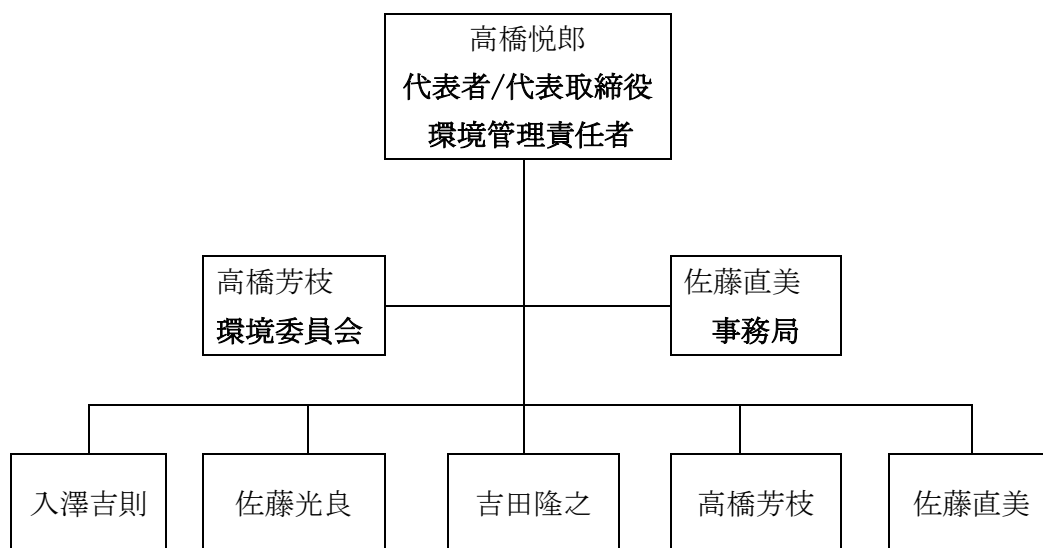
東北運輸局指定民間車検工場

車検・整備・定期点検・予防整備・キズ/へこみ修理など

4) 事業所の規模

活動規模	単位	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)
売上高	百万円	66.4	66.7	78.5	75.2
入庫台数	台	1,588	1,804	2,227	2,221
車検台数	台	422	405	452	460
従業員	人	6	6	6	6
床面積	m ²	163.6			

5) 環境保全関係の実施体制



6) 対象範囲

組織；高橋榮司自動車全組織

活動；自動車の車検・整備

(3) 環境目標とその実績

1) 環境負荷の現状

環境への負荷		単位	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂	12,842	13,801	12,544	11,995
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	未測定	未測定	1,179	683
	産業廃棄物	kg	6,164	7,390	2,400	800
総排水量	下水道	m ³	188	216	145	260
水使用量	上水	m ³	188	239	145	260
エネルギー使用量	購入電力	kWh	16,440	13,611	15,337	15,241
	ガソリン	L	1,939	2063	1,850	1,632
	灯油	L	162	378	360	432

一般廃棄物について 今年度は現状把握／分別廃棄

2) 環境目標

2009年度を基準値として、各年度の目標を以下のように定める。

		2009年度実績	2011年度	2012年度	2013年度
二酸化炭素排出量削減		12,842 kg-CO2	2%削減 12,585	3%削減 12,457	4%削減 12,328
管理 目標	電力使用量の削減	16,440 kwh	2%削減 16,111	3%削減 15,947	4%削減 15,782
	燃料使用量の削減 (ガソリン)	1,939 ℓ	2%削減 1,900	3%削減 1,881	4%削減 1,861
	燃料使用量の削減 (灯油)	162 ℓ	2%削減 159	3%削減 157	4%削減 156
	廃棄物排出量の削減				
管理 目標	産業廃棄物の削減	6,164 kg	2%削減 6,041	3%削減 5,979	4%削減 5,917
	一般廃棄物の削減	実績未測定	2%削減 (実績対比)	3%削減 (実績対比)	4%削減 (実績対比)
用水使用量の削減		188 m ³	2%削減 184	3%削減 182	4%削減 180
グリーン購入の推進		未把握	10%増 (実績対比)	20%増 (実績対比)	30%増 (実績対比)
自社商品の環境取組					
	エコ整備の拡販	未把握	10%増 (実績対比)	20%増 (実績対比)	30%増 (実績対比)
化学物質適正管理					
	ブレーキクリーナーの適正管理		適正な管理 の実施	適正な管理 の実施	適正な管理 の実施
地域環境への貢献			毎朝会社周辺の清掃を行う 積雪時、会社周辺の除雪を行う		

3) 目標達成状況／実績

2012年度(平成24年4月～平成25年3月)の実績は下記の通りです。

環境目標		計画／実施		
		実施;良好○・不十分△		
二酸化炭素排出量削減	基準年比	2%減		
二酸化炭素排出量	計画	12,457	○	
kg・CO ₂	実施	11,995		
管理 目標 項目	電力使用量	計画	15,947	○
	kwh	実施	15,241	
	ガソリン使用量 ℓ	計画	1,881	○
		実施	1,632	
	灯油使用量 ℓ	計画	157	△
		実施	432	
	産業廃棄物 kg	計画	5,979	○
		実施	600	
	一般廃棄物 kg	計画	618	△
		実施	683	
	用水使用量 m ³	計画	182	△
		実施	260	
	グリーン購入	計画	実績把握	○
		実施	実績把握	
エコ整備	計画	実績把握	○	
	実施	実績把握		
ブレーキクリーナーの適 正管理	計画	管理状況把握	○	
	実施	適正管理の実施		

購入電力の排出係数：東北電力の H22 年度二酸化炭素排出係数 0.468 を使用



会社周り（公道）の清掃は日常活動として実施（○）

4) 管理目標の担当者及び責任者

項目	担当者	責任者
電力使用量	社長	社長
ガソリン使用量	佐藤光良	
廃棄物排出量	入澤吉則	
用水使用量	吉田 隆之 入澤/佐藤(光)	
グリーン購入推進	佐藤直美	
エコ整備の推進	社長	
ブレーキクリーナー 適正管理	社長	

(4) 環境活動計画の内容

☆ 電力使用量の削減

- ・ 不要時及び昼休みの照明消灯。電飾看板は20時消灯とする。
- ・ エアコンについては事務所が工場との連絡の為ドアはほとんど解放されており、特別な時でなければエアコンはかけないようにする。
- ・ 2階の商談後には離席時消灯とする。
- ・ 200Vのリフトの上げ下げを最小限度にする。要領良く作業する。

☆ 燃料使用量の削減

- ・ オイル交換始めとして、燃費向上の為点検整備を励行する。
- ・ 佐藤光良さんが代車ごとに走行距離を日々チェック表に記録する。
給油及び貸出等についても記載しておく。
- ・ 全社員で交通安全を最優先に、エコドライブに徹する。
- ・ 社長が率先して垂範安全運転(エコドライブ)をし、現在の無事故無違反の継続に努める。

☆ 廃棄物排出量の削減

- ・ 営業ゴミ(赤)/ミックスペーパー(緑)/ダンボール・古紙等/
ペットボトル等/産業廃棄物の分別を徹底する
- ・ 昼食の弁当の空き箱は製造メーカー側が責任を持って回収してもらう
- ・ ゴミを捨てる人(入澤さん)が袋の重さを量り、日々のチェック表に記録。

☆用水量の削減

- ・洗車時はまず、水をかけ2分洗い流し2分 計4分の作業の短縮化及び効率化を計る。
- ・手洗い時は水を出し放しせずバケツを使う。
- ・床は各人が汚さない工夫。朝一工場及び事務所／階段等雑巾がけする

☆都市ガスの削減

- ・電気保温ポットを2台新しく購入しガスの使用を控える。
- ・湯沸器の使用も社員の心掛けを保ち今後も消費を低減化する。

☆グリーン購入

- ・事務用品はカタログ等でエコ商品を確認し購入する。

☆エコ整備

- ・中古リサイクル品・リビルト品を使用した整備をお勧めする
- ・中古・リサイクル及びリビルト部品を使用した作業の部品代・工賃をチェック表に記録する。

☆地域環境への貢献

- ・毎朝会社周辺の清掃を行う
- ・積雪時、会社周辺の除雪を行う

(5) 環境活動の取組結果の評価及び今後の取り組み

☆購入電力・燃料使用量の削減

良好な結果となったが今後もより一層の意識化を計っていく

☆廃棄物の削減

産業廃棄物としていた廃油を再利用できる業者に回収先を変更。

また、鉄屑・交換済み部品等もリサイクル業者にて無償引取に変更してかなりの量が再資源化にできた。

☆水使用量の削減

外回り洗車の外注先のスタンドが改装工事に為に全車両が社内での作業となり使用量が増加した。今後の節水及び洗車の対策を検討していく。

☆グリーン購入

グリーン商品（エコ商品）をより活用します。

☆エコ整備

現在は実績把握中であるが、今後もお客様に中古（リサイクル）部品並びに再生リビルト品を積極的に提案していく。

(6) 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

適用となる主な法規

適用法規	該当する内容	評価
廃棄物処理法□□	処理業者と契約	○
	廃棄物排出の適正処理	○
	マニフェストの管理	○
	廃棄物排出量等の届出報告	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理	○
消防法	消火設備の設置・維持管理	○
宮城県産業廃棄物の処理の適正化に関する条例	委託業者の確認等	○

違反・訴訟等

環境関連法規への違反及び近隣住民からの訴訟・苦情等は創業以来ありません。
また関連機関からの指摘も同様にありません。

(7) 代表者による全体評価と見直しの結果

早いものでエコアクション 21 の登録をいただいてからおよそ1年です。

電気・水道・ガス・段ボールの定期的な測定及び産廃処理していた鉄クズの再資源化の取組など少しずつではありますが、エコを意識した活動が定着しつつあるように思います。二酸化炭素排出量の目標はクリア出来ましたが、灯油や一般廃棄物、用水など目標達成に至らないところもあり今後の検討課題として取り組んでいきます。

又、お客様からも中古（リサイクル・リビルト部品）の使用を求める声も年々高まっているように思います。そのような部品の新たな仕入れ先の開拓・確保をも意識的に行っており、より一層お客様のニーズ・ウォンツに応えてまいります。

ガソリンの使用量削減の為に、最新型のエコカーを導入し燃費削減に努めてまいりました。安全運転＝エコドライブで今年も全社員無事に無事故無違反を維持します。

産業廃棄物処理法にのっとりオイルフェンスやオイル固化剤の準備によりオイルの流出事故に対処します。また、今後も冷却水の業者による回収再資源化により下水へ流出しないようにします。

消防法にのっとり火災予防に細心の注意を払い消火器の使い方等を年数回訓練し誰でもが消火作業ができる体制をとっています。又、消火器の配置場所も日々見直します。

当社の所在が都市部という事も有り、近隣の方々にご迷惑をかけないよう、音・臭いには神経をなお一層とがらせ、そして何よりも安全な車両の出入りの為、補助員を必ず誘導につけ通行人・通行車両に対して注意を徹底するようにします。

業務内容については道路運送車両法にのっとり作業中の怪我・事故など無いう、又確実な整備が行われ、お客様に喜んでもらえるよう責任者である私が常に管理監督注意義務を怠らないように致します。

平成 25 年 5 月 7 日 高橋 悦郎



次回発行予定 平成 26 年 6 月